

「シエナ・ウインド・オーケストラ」 トロンボーン奏者 塚本 修也さんコーンを語る

コーン88Hトロンボーンは暖かい音色を持ちながら反応も良いから気に入っています

塚本さんとコーンのトロンボーンとの出会いは古いんですね？

塚本 はい。大学生のときは、古いコーンの88Hを使っていました。トロンボーン奏者だった父親もコーンを使っていました。

コーンの88Hは、暖かくて素直な音があるし、反応も良いからバツと吹いたときにスラーがすぐ吹きやすいからとても気に入っていました。今でも大事に使っていますよ。

現在の新しいコーンはいかがですか？

塚本 昔の、いわゆるオールドコーンの面影はありますが、現代のニーズに応え

られるように機能も向上しているいろいろな音色が出せるようになったと思います。コーン独自の暖かくてきめの細かい音色を残しながら、現代の楽器として高い性能を持っている。

一時期コーンは工場が賑々としたりして不安定な時期もあったんですけど、今はすごく安定していて、どの楽器もムラがなく安心して選ぶことが出来るのがいいですね。

マウスピースは普通の太管用で大丈夫なんですか？

塚本 昔のコーンは、いわゆるコーン・シヤンクのマウスピースでないと入り過ぎてしまったんですけど、今は改良されて、普通のマウスピースをそのまま付けてもぴったりするようになりました。ただし、楽器のキャラクターがテナーに近い感じ

なので、どちらかと言うと、ちょっと大きめのマウスピースの方が相性が良いかもしれません。

様々なニーズに応えるコーン88Hの豊富なバリエーション

同じ88Hでも、いろんなバリエーションがあるんですね？

塚本 ええ。CLロータリーという独自のヴァルヴを持つリンドバークモデルや、ローズブラス、イエローブラス、薄いシンローズベルなど、ベルの材質が違うモデルの他、F管の巻きが緩やかなオープンラップモデルなどいろいろ。

そのなかでも、個人的にはオープンラップモデルがお薦めですね。息の入りがスムーズなので、抵抗感が少なくて吹きやすい。

もちろん、トラディショナルラップのモデルにもコーンらしい良さがあるって、心地良い抵抗感が支えてくれる感じが好きな人にはお薦めです。

ローズブラスとイエローブラスとではどう違うんですか？

塚本 音色ですね。僕としては、コーンは赤ベルというイメージがあるからローズブラスの方が好きです。

シンローズベルとローズブラスとでは？

塚本 シンローズはベルが薄いので反応が良いんです。非常に吹きやすい楽器だから、初心者や小柄な方にもお薦めです。これから楽器を購入しようと考えてい

る人は、自分の好みを考えて選べばいいわけですね。

塚本 はい。コーンは、昔の楽器よりもしっかり吹きやすくなって、サウンドや曲のイメージで選択することが出来るようになりました。以前よりもラインナップも増えましたし、いろいろな吹き比べて自分の好み合った楽器を選んで使うといいと思います。



【トロンボーン】 塚本 修也 (つかもと しゅうや)
東京藝術大学音楽学部卒業。
Royal Academy of Music (英国王立音楽院) 修了。
1990年東京文化会館主催新人演奏会出演。
1992年日本トロンボーン協会主催トロンボーンコンペティションアンサンブル部門大学生の部第1位。
1997年大阪トロンボーン協会主催トロンボーンコンペティションアンサンブル部門第3位(1位、2位なし)。
トロンボーンを伊藤清、小田桐寛之、H.ナッシュ各氏に師事。
現在、シエナ・ウインド・オーケストラ楽団員。シエナブラス主宰。



Trombone (88HR)
C.G. Conn
88HR) *トラディショナルモデル
*in B^b/F、太管、ローズブラスベル、ボア(13.89mm)、8-1/2インチベル、ラッカー仕上げ
88HY) *同上、イエローブラスベル
88HRT) *同上、シンローズブラスベル
*他、オープンラップモデル、デュアルボアスライドモデル(13.89mm/14.27mm)
*全モデル ケース・付属品付